

令和2年度 奈佐小学校の教育

1 校訓

和らぎ 励んで 輝けよ

2 学校教育目標

「違いを認め、高め合って、なりたい自分へ伸びゆく子」の育成

3 基本方針

- 自分の考えを持ち、進んで伝えようとする子どもを育てる（スピーチの日常化）。
- 主体的に学習・生活の課題を解決しようとする子どもを育てる（「どうすればいいか」を子どもに問い続ける）。
- 子どもの伸びを見つけ、認め、努力する姿を励まし続ける。
- 教職員が、情報を共有し、協働実践すると共に、保護者に情報発信し、理解と協力を得る。

4 取組の重点

- 豊かな心を育む道徳教育・人権教育・体験活動の充実（心の力）
 - 考え、議論する道徳授業の実践（多面的・多角的に、自分事として）
 - 縦割り班活動・児童活動の充実（多様な人との関わりと自主性を発揮する場を）
 - 間違いや自分との違いを認めようとして、協力し合う仲間づくり
 - あいさつ・そうじ・笑い・感謝の実践（朝から元気なあいさつができる生活習慣づくり）
- 健康でたくましく生きる心身の育成（体の力）
 - 体育授業の充実（運動量の確保・基礎感覚づくり・テクニカルポイントの指導）
 - 遊び・体力づくりの充実（新しい運動や遊びに出会わせる教師の関わり）
 - 家庭と連携した基本的生活習慣の定着（外部講師による情報提供、子どもも参加したルール作りの促進）
 - 自立・自律に向けた取組の充実（生活チェック表の活用）
- 確かな学力を育む学びの創造（頭の力）
 - 思考の技能を活用し、自ら主体的に進める授業（学習過程スタンダードの定着）
 - 全員参加の授業（違いやズレを生み出す発問の工夫、ノート作業の活用）
 - 特別支援教育の視点を生かした授業改善（授業スキルアップチェックシートの活用）
 - 非認知能力を伸ばす取組（「やり抜く力」評価カードの活用）
 - 読書習慣の定着（読書日記の日常化、学級文庫の多様化、親子読書の充実）
- 地域に開かれた「信頼される学校」
 - 子どもの事実を情報発信（学校・学級だより、HPの定期的更新、39メール等）
 - 担任と家庭の密な連携（子どものよさを共有する連絡帳、電話連絡、家庭訪問、面談）
 - 地域人材・教材の活用（奈佐のよさを取りまとめ、五荘小に引き継ぐ）
 - 閉校に向けた思い出づくり（奈佐小学校最後の〇〇を盛り上げよう）